

山梨県地域医療再生計画

(高度・専門医療を中心にバランスのとれた医療提供体制を構築)

現状

- H22厚生労働省の必要医師数実態調査では本県の必要医師数は現員医師数の1.29倍
- がん患者の10%以上が県外で入院治療
- 分娩取扱い医療機関はH16の24機関がH23には15機関に減少
- 救急搬送時間は、H16の30.5分がH21は34.3分に増加

中北医療圏
・人口474千人
・病院数32病院

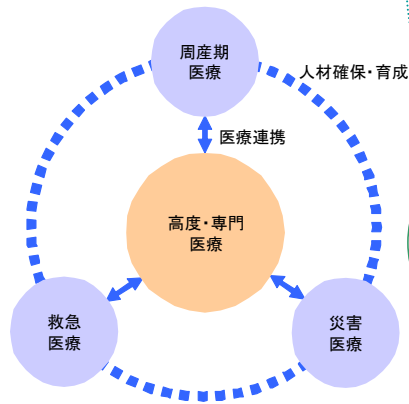
峡東医療圏
・人口141千人
・病院数14病院

富士・東部医療圏
・人口190千人
・病院数8病院

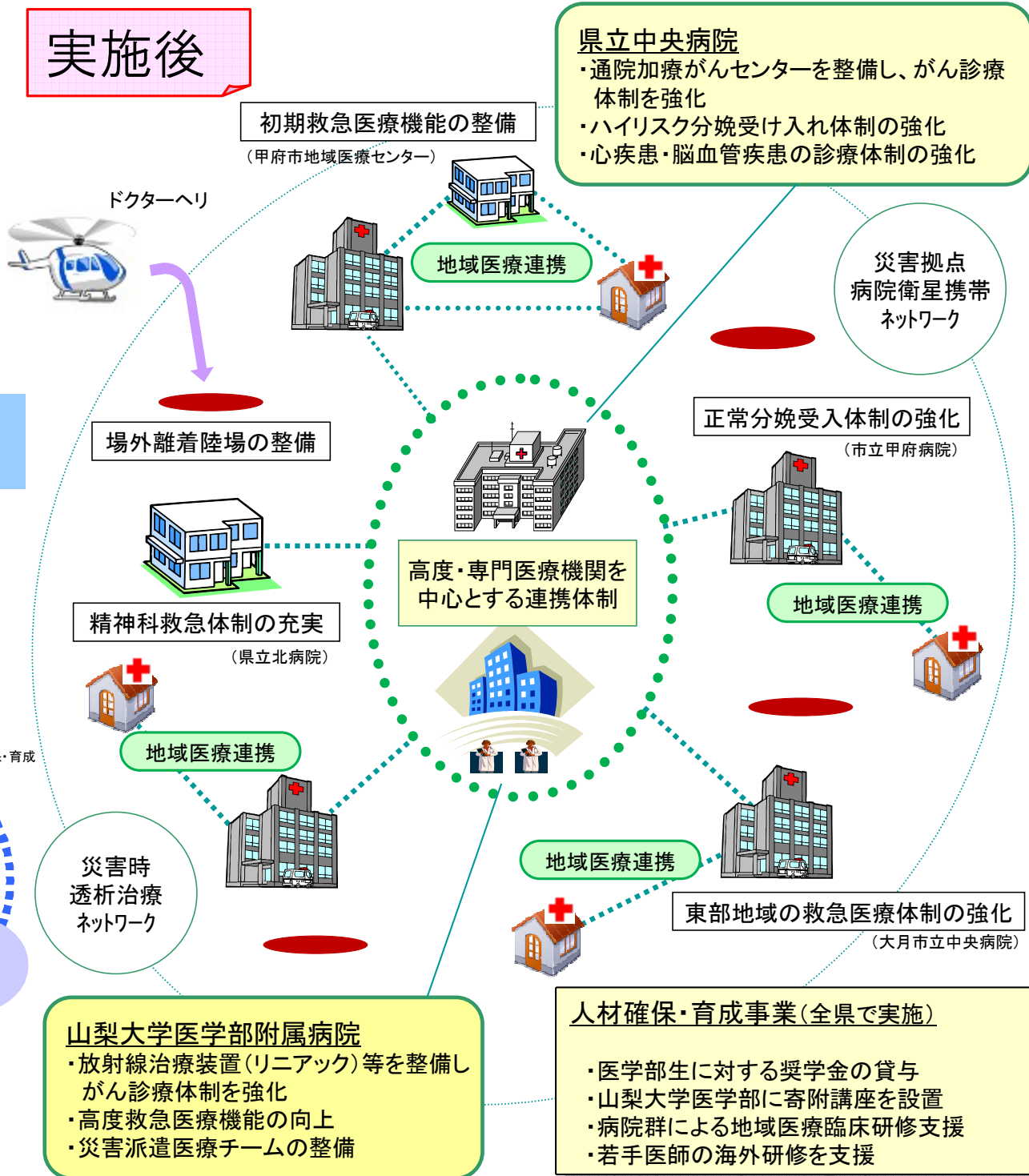
峡南医療圏
・人口58千人
・病院数6病院

課題

- 高度・専門医療の提供体制が脆弱
- 分娩取扱い病院が減少し、周産期医療提供体制が弱体化
- 救急病院等の受け入れ体制が脆弱
- 災害時初動体制、患者搬送体制、災害拠点機能のさらなる充実が必要
- 医療連携が不十分で、地域の医療資源の活用が非効率
- 医師等の不足が地域医療の提供に支障



実施後



県立中央病院
・通院加療がんセンターを整備し、がん診療体制を強化
・ハイリスク分娩受け入れ体制の強化
・心疾患・脳血管疾患の診療体制の強化

初期救急医療機能の整備
(甲府市地域医療センター)

地域医療連携

災害拠点病院衛星携帯ネットワーク

場外離着陸場の整備

正常分娩受入体制の強化
(市立甲府病院)

高度・専門医療機関を中心とする連携体制

地域医療連携

精神科救急体制の充実
(県立北病院)

地域医療連携

災害時透析治療ネットワーク

地域医療連携

東部地域の救急医療体制の強化
(大月市立中央病院)

山梨大学医学部附属病院
・放射線治療装置(リニアック)等を整備しがん診療体制を強化
・高度救急医療機能の向上
・災害派遣医療チームの整備

人材確保・育成事業(全県で実施)

- ・医学部生に対する奨学金の貸与
- ・山梨大学医学部に寄附講座を設置
- ・病院群による地域医療臨床研修支援
- ・若手医師の海外研修を支援

山梨県における課題を解決する方策

1 課題を解決する方策

(高度・専門医療の提供)

① 課題 高度・専門医療の提供体制が脆弱

目標 先端医療を受けられる体制を強化

対策 高度・専門医療提供体制整備事業(9.86億円)

高度・専門医療提供体制整備事業は、がんや心疾患などの高度・専門医療を提供するために必要な医療機能を整備するものである。

(周産期医療提供体制の充実)

② 課題 分娩取扱い病院が減少し、周産期医療提供体制が弱体化

目標 現在ある医療資源を有効活用し、周産期医療の提供体制を充実

対策 周産期医療体制整備事業(0.95億円)

周産期医療体制整備事業は、周産期医療提供体制の充実を図るため、ハイリスク分娩受け入れ病院等の機能強化と周産期医療機関の連携体制を強化するものである。

(救急医療提供体制の強化)

③ 課題 救急病院等の受け入れ体制が脆弱

目標 各救急医療機関がそれぞれの役割を果たせる体制の整備

対策 救急医療体制整備事業(17.46億円)

救急医療体制整備事業は、初期救急から三次救急病院まで、各医療機関が求められる役割を十分に発揮できるよう、必要な医療機能を整備するものである。

(災害医療体制の充実)

④ 課題 災害時初動体制、患者搬送体制、災害拠点機能のさらなる充実

目標 災害発生時における医療提供体制の強化

対策 災害医療体制整備事業(14.63億円) ※再掲分(13.19億円)を含む

災害医療体制整備事業は、災害時初動体制や患者搬送体制の強化、災害拠点や災害時透析医療体制を整備するものである。

(医療連携体制の構築)

⑤ 課題 医療連携が不十分であり、地域の医療資源の活用が非効率

目標 限りある医療資源を効率的に活用するために、医療機関等の連携体制を強化

対策 医療連携体制整備事業(1.91億円) ※再掲分(0.40億円)を含む

医療連携体制整備事業は、急性期から在宅医療までの医療連携体制を構築するものである。

(医師等の確保及び育成)

⑥ 課題 医師等の不足が地域医療の提供に支障

目標 医師等の確保、資質・技能の向上を図り、地域の医療提供体制を立て直し

対策 人材確保・育成事業(2.41億円) ※再掲分(1.50億円)を含む

人材確保・育成事業は、奨学金貸与制度による地域医療従事医師の確保、臨床研修医等の受入れ体制の強化、若手医師の資質向上と定着を図るための海外留学制度創設など、人材の確保と育成を推進するものである。

2 地域医療再生計画終了時の姿

高度・専門医療機関を中心として、各医療機関が、それぞれの役割に応じた医療を提供し、高度・専門医療から一般医療まで、また急性期医療から回復期・在宅医療まで、切れ目のない医療が提供できる体制を確保

圏域の将来像

誰もが健康に安心して暮らせる“やまなし”の実現

計画期間の目標

高度・専門医療を中心にバランスのとれた医療提供体制を構築